

いま!この一冊!



『カカ・ムラド  
～ナカムラのおじさん』

原作：ガフワラ

文・訳：さだまさし

双葉社 Y333/カ

中村哲。医師。日本人。

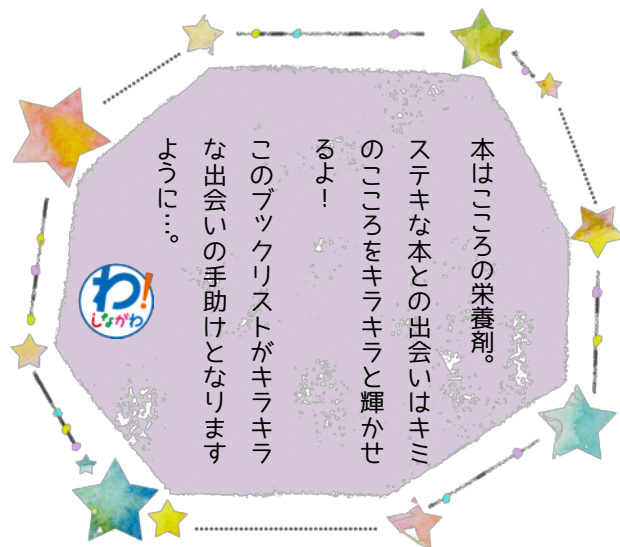
日本の病院で勤務した後、パキスタンの病院や、アフガニスタンの難民キャンプ、貧しい村に医者として派遣される。そこで人々の健康を害していた水問題を解決、水路を整えることで多くの命を守り、砂漠を緑の土地に生まれ変わらせた。中村さんの活動は、65万人ものアフガニスタン人をより平和に暮らしていけるようにしたという。

「カカ・ムラド（ナカムラのおじさん）」と呼ばれ、現地の人とともに生きてきた中村さん。成し遂げた業績と生き様は、アフガニスタンで絵本として出版されていた。その2冊の絵本「カカ・ムラド～ナカムラのおじさん」「カカ・ムラドと魔法の小箱」を、解説とともに再録。

2019年12月、武装勢力による凶弾に倒れるまで、カカ・ムラドの活動はアフガニスタンの人々や、大統領にまで希望を与え続けた。

2021年8月に政権が倒れ、アフガニスタン情勢が混乱しはじめても、カカ・ムラドの意思を継いだ仲間たちはアフガニスタンで平和と人々を守る活動を続けている。

希望を受け継ぐ次代のカカ・ムラドは、この本を読んだ子供たちの中にいるのかもしれない。



図書館おすすめブックリスト



キラ  
キミのこころに☆めきを☆  
中学生



『地球で暮らす  
きみたちに知  
ってほしい50のこと』

著：ラース・ヘンリック・オーゴード

みだにありこ  
訳：梶谷玲子 晶文社 Y034/チ

「星はいくつあるんだろう？」

「どうして空は青いの？」

「どうやったらお金持ちになれる？」

「どうして戦争は起きるの？」

誰もが一度は考えたことがある素朴な疑問50個を、改めて再確認。

「今」を知れば、「これから」が見えてくる。これから目指す未来をはっきりと描くため、君の中の疑問を解き明かしてみよう！

2021年冬号

編集・発行：五反田図書館



『友だちってなんだろう?』  
ひとりになる勇氣、人とつながるカ』  
著: 齋藤 孝 誠文堂新光社 Y158/㌥

「友だち」って難しい。家族でも恋人でもない、かけがえのない存在? いなくてもいいもの? どうやったら出来るの?  
友だち付き合いだけじゃない、相手も自分も傷つけない人付き合いに必要なことってなんだろう。この本でぜひ、答えを探してください。



『漫画 君たちはどう生きるか』  
原作: 吉野源三郎 絵: 羽賀翔一  
マガジンハウス Y159/㌥

80年前から読み継がれた名著が漫画になりました。  
友情、いじめ、「あたりまえ」を疑うこと。時代を変えても変わらない大切なことを、読みやすいマンガ形式で再編集。



『10代からのSDGs』  
いま、わたしたちができること』  
著: 原佐知子 監修: 井筒 節、堤 敦朗  
大月書店 Y333/㌥

「どんな人にも自由に洋服選べるように」「ラジオで地元を知ってもらおう!」「誰もが芸術に触れる機会を」  
SDGs。誰もが無関係でいられない、17のゴールへのユニークな取り組みを紹介! 2030年の地球は今よりちょっと素敵になっているかな?



『泣いたあとは、新しい靴をはこう。』  
10代のどうでもよくない悩みに作家が言葉で向き合ってみた』  
編: 日本ペンクラブ ポプラ社 Y159/㌥

「こんなこと悩んでるのは自分だけ?」  
今まさに迷える、悩める10代からのSOSに、数々の名作を生み出してきた44名の人気作家が向き合います。  
読み終わったときには、きっと新しい一歩が踏み出せるはずです。



『3ツ星シェフ部!』  
または、カリスマ料理人の俺様が、なぜ、お子様部活の顧問になったか。』  
著: よしもとこゆき 絵: くじょう  
学研プラス Y913/㌥

二つ星取得の俺様シェフ・一ノ瀬豪太、解雇! からの、高校料理部顧問へ転職?  
クセの強い部員4名を育てて鍛えて、目指すは全国高校生料理大会優勝と、シェフへの振り返り! (と借金完済!)  
フレンチ×熱血×部活小説、めしあがれ!



『オオカミの時間』  
今そこにある不思議集』  
著: 三田村信行 絵: 佐々木マキ  
理論社 Y93/㌥

オオカミのフェイスマスクを被った少年が町を彷徨う。行先を決めないまま電車で揺られていると、一人のおばあさんと出会った...。  
田舎の言い伝え、玄関の鏡、古い木...。日常のすぐそこにある、怪異と不思議を切り取った短編集。



『瓶に入れた手紙』  
著: ヴァレリー・ゼナッティ 訳: 伏見 操  
文研出版 Y93/㌥

イスラエルの少女タルは、パレスチナのだれかへ向けて瓶に入れた手紙を流した。  
テロはどうして起きる? 殺し合う相手はやっぱり憎いの? それを知りたくて、タルは手紙を流した。それを手に入れたのは、パレスチナ・ガザ地区の少年だった...。  
十代をめぐるテロと圧政の姿を、それぞれ国から描いた物語。



『イカル荘へようこそ』  
著: にしがきようこ PHP研究所 93/㌥

「わたし、帰らない」  
ケンカばかりの両親のもとを飛び出した真子は、ひよんなことから画家の夏鈴さんの家、「イカル荘」にホームステイすることになる。  
夏鈴さんやインドネシアからの留学生・デフィンと一緒に生活していくうち、真子と家族たちはゆっくりと変化して...。



『月の光を飲んだ少女』  
著: ケリー・バーンヒル 訳: 佐藤見果夢 評論社 Y93/㌥

森には悪い魔女が住んでいた。町は平和を守るために、毎年赤ん坊を生贄に捧げなければならなかった...。  
しかし、森の中にいたのは善良な魔女。捧げられた赤ん坊たちも、みんな大切に育てられていた。  
しかしある赤ん坊は、月の光を飲んだことから魔法の力に目覚めてしまって...。